

多文化共生からはじまる 私たちの未来



近年、外国人市民(※)の数は増加し、国籍等もより多様になってきました。こうした中で、さまざまな文化を認め合い、共に暮らしていく「多文化共生のまちづくり」がますます大切になっています。

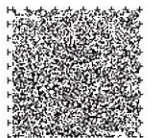
外国人市民は、地域社会を支える大切な仲間です。

これからも安心して暮らし続けられるまちをつくるためには、国籍や文化の違いにかかわらず、同じ地域の住民としてお互いを尊重し、知恵や力を出し合うことが欠かせません。

多文化共生のまちづくりに向けて、私たちに何ができるか考えてみましょう。

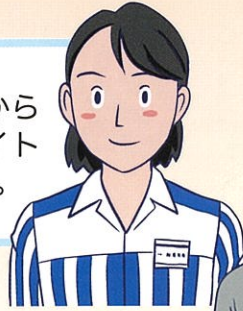
※ このリーフレットでは、日本国籍の有無にかかわらず、外国にルーツを持ち、本市にかかわっている人を「外国人市民」と表現しています。

このコードは「音声コード」です。専用の活字文章読み上げ装置で、コードを読み取ると音声で本文の内容を読み上げます。



私はこうして日本にきました！

2023年に留学生としてネパールから来ました。コンビニ店でアルバイトをしながら日本語を学んでいます。



2020年に「技人国」(※1)の在留資格で中国から来ました。IT企業でエンジニアをしています。



※1 技術・人文知識・国際業務：専門知識や技術を持つ人材を受け入れる制度

国際結婚して来ました。当時は周囲の人に助けられました。今は来日した人を通訳や相談などでサポートしています。



2019年に「特定技能」(※2)としてベトナムから来ました。自動車整備工場で働いています。

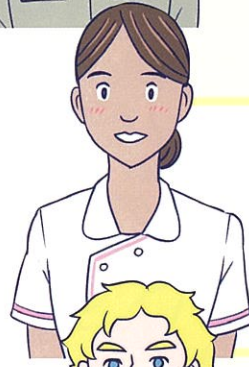


※2 特定技能：一定の専門技術を持つ人材を即戦力として受け入れる制度

来日して20年になります。消防団に入り、町内会の役員も引き受けています。



2014年に「二国間経済連携協定」(※3)でフィリピンから来ました。看護師試験に合格し病院で働いています。



※3 二国間経済連携協定：看護師や介護士の候補者を受け入れ経済連携の強化をめざす制度

1930年代に朝鮮半島から祖父母は来ました。終戦後も帰国が叶わず、日本に住み続けています。私は在日3世です。



1990年の入国管理法改正で得た定住者の在留資格でブラジルから来た日系3世です。祖父母は1900年代始めにブラジルへ移住しました。



2000年に「文化活動」の在留資格でフランスから来ました。清酒作りに興味を持ち酒蔵で修行しています。

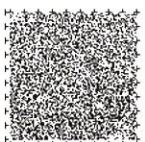
〈地域の声〉

町内会のメンバーが高齢化する中、近所に住む外国人と一緒にみこしを担いでくれて、祭りがとても盛り上がったんだ！



〈会社経営者の声〉

1990年代頃から働き手がだんだん見つからなくなってねえ。外国人が来てくれて助かりましたよ。



社会の一員として頑張っています！

私たちの周りにはたくさんの外国人市民がいます。自分には関係ないと思っけていても、実際には多くのかかわりを持っています。私たちの地域の多文化共生について考えてみましょう。

知ろう！

あなたの周りに外国人市民はいますか？

日本人と外国人市民の間にある 3 つの壁

	日本人	外国人市民
言葉の壁	・外国語がわからない。	・日本語がわからない。
心の壁	・外国人が集まっていると不安に思う。	・日本人は外国人に対して冷たく感じる。
制度の壁	・ごみ捨てのルールを守らない。	・ごみ捨てのルールがわからない。

壁を超えるためにできること① やさしい日本語

「やさしい日本語」は、目の前の相手とわかりあいたいという気持ちで相手に合わせて言葉や表現を工夫して言い換えていくものです。

基準は、小学校3年生が習うくらいの漢字と、ひらがな・カタカナによる表現です。

「やさしい日本語」は外国人市民だけでなく、高齢者や障がいのある人、こどもにもわかりやすい言葉です。

「やさしい日本語」のポイント

「はさみの法則」で聞き取りやすく **はっきり** **さいごまで** **みじかく** 話すことが大切

やってみよう！

やさしい日本語に変えてみよう

・回覧板をお願いします。

壁を超えるためにできること②

翻訳アプリの活用

Google 翻訳

VoiceTra
(ボイストラ)

等

壁を超えるためにできること③

外国人市民のことを正しく知る

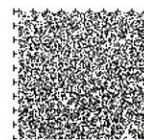
もっと知ろう！

身近にいる外国人市民の国について調べてみよう

どこにある？

知りたいこと・気になることなんでも

このコードは「音声コード」です。専用の活字文章読み上げ装置で、コードを読み取ると音声で本文の内容を読み上げます。



壁を越えるためには、相手のことをまず知っていくことが大切です。やさしい日本語などを使いながら、交流し、お互いの理解を図りましょう。

多文化共生のまちづくりとは

多文化共生とは、国籍や文化の違いにかかわらず、誰もが『自分らしく暮らせる』まちづくりのことで、外国人市民だけでなく、地域に住むすべての人のための取組です。

例えば「やさしい日本語」を活用した情報発信は、こどもや高齢者にもわかりやすく、言葉や情報で困っているすべての人の安心につながります。

外国人市民が地域を支える力に

外国人市民は、地域社会に不可欠な存在であり、私たちと共に地域を支える大切な仲間です。祭りの担い手や消防団への加入など、地域の安全と伝統を支える力になっている地域もあります。

持続可能な社会の実現に向けては、外国人市民と互いを尊重し、対等な関係を築き、知恵や力を出し合い、活力ある地域づくりをともに進めていくことが不可欠です。

本市の取組

本市は2025年3月に、多文化共生のまちづくりの進め方をまとめた「福山市多文化共生推進プラン」を作りました。このプランを基に、交流の場や日本語教室などの学びの場、地域の維持・活性化につながる取組を、地域のみなさんと協働で進めていきます。

多文化共生のまちづくりの主体の一人である地域住民においては、地域コミュニティの一員として、外国人市民が地域で活躍しやすく、社会参加が進むよう日常的な交流を深めていくことが大切です。

また外国人市民が日本のルールなどを習得することができるよう、情報や学びの場の提供をしていくことも大切です。



プランについては
こちらから

進んでいます 多文化共生のまちづくり



日本語教室の様子

外国人市民が、日本語を学びながら、交流しています。地域の日本語教室には、どなたでも参加できます。



交流イベントの様子

日本人と外国人市民が、「多文化共生」をテーマに、イベントを企画・運営し、地域を盛り上げています。



地域行事への参加

外国人市民が、災害時にサポート側として動くことができるよう、地域の防災訓練に参加しています。

リーフレットに関するお問い合わせ

多様性社会推進課 … 084-928-1006

まちづくり推進課 … 084-928-1243

中部地域振興課 …… 084-932-7265

南部地域振興課 …… 084-980-7713

松永地域振興課 …… 084-934-5443

北部地域振興課 …… 084-976-9460

東部地域振興課 …… 084-940-2574

神辺地域振興課 …… 084-962-5026

